

発見かんづま

— 北から南から —

広滝水力発電所

(現在 広滝第一発電所)

明治四十一年十月一日待望の送電が開始され、佐賀市、神埼町併せて二千六十戸、灯数八百八十八個の電燈が一斉に輝いて人々を歓喜させたといわれる。
緑に映える赤レンガの建物は近代産業発展の象徴として、その勇姿を今日にとどめている。



広滝発電所 (所在地 脊振町広滝字岩屋)

あなたの声を!!

議会の一層の活性化と、市民の皆様に読みやすく親しみやすい紙面づくりのためにいろいろなご意見をお聞かせ下さい。



編集後記

合併後の初めての議会、一般質問に十七名の議員が登壇。皆さんそれぞれ熱心に市長に質問。旧町時代の一般質問のやり方とは違うのだから戸惑いました。九十分の制限時間の中で、選挙中に訴えてきた自分の選挙公約をいかに実現していくのか、また市民の代表として、行政をしっかりと監視していく役割も担っています。今後四年間、私たち議員はいかに市民の立場に立った活動をするのかが問われます。「初心忘るべからず」を肝に銘じて頑張ってください。

福田 清道

広報委員会

委員長	福田 清道
副委員長	角田 晴義
委員	白石 昌利
委員	田原 和幸
委員	古賀 安行